

スペシャルすまいる

No. **46**
2015
November

NIKKO City Council of
Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo

住民の皆さまと歩み続けて、10周年

日光市社会福祉協議会合併10周年記念事業

日光“しゃきょう”祭

◆日時／平成27年11月14日(土) 11:00~16:00

◆場所／道の駅日光 日光街道二コ二コ本陣

■主催／日光市社会福祉協議会 ■後援／日光市
■協力／相馬市社会福祉協議会・妙高市社会福祉協議会
・東松島市社会福祉協議会・スマイル日光プロジェクト協力団体

【お問合せ先】日光市社会福祉協議会
〒321-1261 日光市今市511-1
TEL.0288 (21) 2759 FAX.0288 (21) 3110
URL : <http://www.shakyo-nikko.or.jp/>

CONTENTS

- わたしの地域の福祉活動 2~3ページ
- ワークキャンプ2015&青少年ボランティアリーダー養成 4~5ページ
- 寄附・ネーパール地震義援金・日赤社資のお礼と報告
共同募金への協力依頼 6ページ
- 小学生ふくし体験教室・災害等相互支援協定締結報告 7ページ
- 日光“しゃきょう”祭のご案内 8ページ

この広報誌の発行にはみなさまからご協力いただきました赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



わたしの地域のふくし活動

大沢地区

USAWA

大沢地区社会福祉協議会では、互いに支えあい、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、福祉を身近に感じてもらえるような事業を実施しています。

○笑顔を届ける給食サービス！

地域のボランティアさんが作る手作りのお弁当を、高齢者のひとり暮らしなど、見守りが必要な方を対象に、ご自宅へお届けしています。

7月22日(水)には、地区内の小中学生がボランティアに加わり、手紙の作成・お弁当の盛り付け・配達を手伝ってくれました。

一生住み続けたいと思えるまちをめざして！

○しゃきょう研修 (一般向け研修)



9月7日(月)に大沢地区にお住まいの方を対象とした「しゃきょう研修」を開催しました。今年度は、献血や災害時の義援金でおなじみの日本赤十字社栃木県支部の活動について学び、備蓄倉庫を見学しました。



藤原地区

FUJIBARA

文章講座

～2時間で身につく！ 伝わる文章の書き方～

藤原地区社協では、広報誌「ふじの和」を年3回発行し、本会の事業や地域の情報を発信しています。

取材から誌面の校正まで、広報部員がすべて行っていますが、毎回文章を書くことに四苦八苦しており、今回の文章講座を開催することになりました。

講座は誌面作りに携わっている方や興味のある方にも参加いただき、総勢25名となりました。

講師には各地のセミナーで活躍中の赤羽博之さんにお越しいただき、伝わる文章の書き方の3つのポイントを教えていただきました。

良い・悪い文章を見比べたり、笑いを交えた講義は分かりやすく、あっという間の2時間でした。

参加者からは「今までの迷いが吹き飛ばすようだった!」「とても参考になった」との声をいただきました。



塩野室地区

SHIONOMURA

介護者交流会

～人と人をつなぐ場づくり～

塩野室地区社会福祉協議会では、在宅で高齢者等を介護している方、また介護していた方を対象に年3回交流会を実施しています。今年度からは、地区内の高齢者福祉施設および地域包括支援センターと共催で実施することになり、関係機関が連携し在宅介護を支える仕組みづくりをすすめています。



7月9日には、看護師による熱中症についてのお話しと理学療法士による遊びリレーションの内容で、ゲーム等を通して自宅で行える体操などを学びました。参加者からは「初めて参加したがとても楽しかった。これからもぜひ参加したい」との声をいただき、笑顔あふれる交流会となりました。

これからも、人と人がつながる場を通して顔の見える関係をつくり、高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくりをすすめていきたいと思ひます。



栗山地区

RIYAMA

災害教室

～いざという時、あなたはどうしますか～

栗山地区社会福祉協議会では、7月24日(金)に日向公民館で「災害教室」を開催しました。

今年度は地震等の災害ではなく、日常の中での必要な知識を学びたいという意見があり、「救命」をテーマとして消防職員の方を講師にお招きし、基礎的な救命の知識とAEDの使い方を学びました。

参加者は講師の話に聞き入り、積極的に質問をしては知識を習得していました。

参加者からは「分かりやすく教えてもらえてよかった」、「知識があるとないと



では人の生死を分けることになるんだと改めて感じた」、「栗山地区は高齢者が多く、日中はほとんど高齢者しかいない。必要な知識を学べてよかった」といった声を聞くことができました。

次年度も住民の皆さんから意見をいただき、災害教室を実施していく予定です。



ワークキャンプ2015&青少年ボランティアリーダー養成研修開催!!

ワークキャンプ2015を開催しました!

単にボランティア活動を体験することだけが、このワークキャンプの目的ではありません。たくさんの人たちとの出会いを通して、自分たちの住んでいる地域には、様々な人たちが支え合いながら生きている、そんな“共に生きる社会”を身近に感じて、人を大切にする気持ちを育てていきます。

このワークキャンプは今回で26回目を迎え、市内の福祉施設やボランティア団体などの協力を得て実施しています。

■事前学習 7月26日(日)

参加者同士が初めて出会い、顔を合わせました。

初めは緊張した雰囲気でしたが、ボランティアリーダー達が考えたゲームなどを通して緊張がほぐれ、笑顔で楽しく交流することができました。また、ボランティアリーダーと一緒にコミュニケーションや体験学習にあたっての注意事項などについても学習し、初めは不安を感じていた参加者も、事前学習の終わりには、自信とやる気に満ちた顔つきに変わっていました!



■事後学習 8月12日(水)

ボランティア活動は、振り返ることによって本当の意味を見出すことができます。参加者全員で体験してきたことをふりかえり、この体験を通しての気づきや学びを、自分自身の今後へ活かしていきます。自分の住む地域での出会いや交流を通して、自分では気付かなかった“新しい自分”が見えてくる! そんな出会いを、このワークキャンプでしてみませんか?



青少年ボランティアリーダー養成研修開催!!

去る6月21日(日)から8月18日(火)までの約2ヶ月間に渡って、青少年ボランティアリーダー養成研修事業を開催しました。

この研修も今年で13回目!市内の高校生11名が参加し、全6回の日程で、時には悩み、時に笑いありと充実した研修になりました。

この研修を通して、参加者からは「えっ!私にもこんな事ができるんだ!」「自分は人見知りだと思っていたけど、研修の中でコミュニケーション力がついた!」など、自分自身の成長や知らない自分を発見した様子でした。

新たな出会いから結ばれた仲間と一緒に、未知なる自分自身を発見できるボランティアリーダー養成研修。あなたも、知らない自分のチカラを発見し、地域でそのチカラを発揮してみませんか?



寄 附 報 告

平成27年6月1日～
平成27年8月31日

取扱	寄 附 者 名	金額(円)
本所	旧今市市OB職員親睦会	12,948
本所	今市公民館ふれあい教室	3,100
今市	小野 ヨシエ	10,000
足尾	新井 房枝	10,000
足尾	小松 春雄	10,000
栗山	匿名	10,000

取扱	寄 附 者 名	金額(円)
藤原	加藤 礼子	30,000
藤原	星 孝一	50,000
藤原	霜田 嬉偉	30,000
藤原	中村 和子	50,000
藤原	松本 信行	50,000

取扱	寄 附 者 名	品 名
本所	ホテル万葉亭	布団(7組)
今市	五家 英子	車椅子
日光	玄梅 正明	座椅子、 シルバーカー

日赤募金(社資)へのご協力ありがとうございました

募金総額は
10,117,320円

お寄せいただいた募金は、日本赤十字社に全額送金し、次のような赤十字活動に役立てられます。

- 災害救護
- 講習普及事業
- 国際救護
- 社会福祉事業
- 看護師養成
- 青少年赤十字
- 医療事業
- 血液事業
- 赤十字ボランティア

「ネパール地震義援金」へのご協力ありがとうございました。

義援金総額は **387,259円**

お寄せいただきました義援金は、国際赤十字・赤新月社連盟とネパール赤十字社が実施する救援活動を支援するため、日本赤十字社に全額送金させていただきました。

窓口にてお預かりした義援金
(平成27年6月1日～7月15日の期間)
・ボーイスカウト今市第2回 111,493円

小学生ふくし体験教室 **障がい者との交流体験&防災体験**

～みんなで“楽しく”福祉を学ぼう～ H27.7.25(土)&8.8(土)

子どもたち自身が障がい者交流や地域防災などの「体験」を通じ、福祉を身近に感じ、助け合う社会づくりや地域福祉活動に参加することの大切さを深めてもらうため、小学生ふくし体験教室を開催しました。

アイマスクをしてお茶入れをし、視覚に障がいのある方の大変さが分かりました。



防災体験では、ご飯と煮物の炊き出しをしました。



正しい車いすの乗り方や介助の仕方を教わりました。



体験後の子ども達の感想です。

- ・目がふ自由な大久保さんに、「だんさがありますよ」「止まってください」などと声をかけましたが、たいへんだと思いました。スーパーで大久保さんは、お金を大きさや手ざわりで分けていてすごいと思いました。車いすに乗って、だんさや坂があるところのこわさが分かりました。グループで協力して新聞作りや車いす体験が出来て良かったです。
- ・災害が起きたら、家の人の話をよく聞いておちついて行動する。近所の人と声をかけあって物がたおれてこない安全な所へにげる。

参加された皆さん



「災害等相互支援」協定締結/東松島市社会福祉協議会(宮城県)

報告

去る8月11日、日光交流促進センターにおいて宮城県東松島市社会福祉協議会との「災害時における相互支援活動に関する協定締結式」を開催しました。

今回の協定締結は、市内の高校生ボランティア(NIKKO高校生ボランティアネットワーク)が平成24年9月から宮城県東松島市での東日本大震災支援活動を継続して行っていることが契機となっています。

現在も年5回、東松島市を訪れ、地元の高校生たちと一緒に仮設住宅での交流会やイベント開催などの支援活動を行っています。

この日は、その橋渡し役となった両市の高校生たちも協定締結式に立会いました。県外の社会福祉協議会との協定締結は、今回で3件目となります。両市における交流がさらに進んでいくことを期待しています。



協定締結式の様子

謝礼

今年9月の豪雨災害により開設した「日光市災害ボランティアセンター」の運営に際しましては、この協定に基づき、相馬市社会福祉協議会(福島県)、妙高市社会福祉協議会(新潟県)、東松島市社会福祉協議会(宮城県)の皆様方より多大なるご支援(職員派遣等)をいただきました。当該センターの活動につきましては、改めてご報告いたします。



高校生たちによる東松島市内仮設住宅での支援活動の様子

～10月1日から始まります～

共同募金

赤い羽根募金+歳末たすけあい募金



共同募金には、誰もが安心して生活できる地域福祉づくりのため、民間社会福祉事業を支援する募金としての役割が期待されています。

みなさまからお寄せいただく浄財は、県内の福祉施設、団体や社会福祉協議会に配分され、地域福祉の推進や支援を必要とする方々のために活かされています。



ご協力をお願いします。





日光“しゃきよう”祭

【タイムスケジュール】

日時／平成27年11月14日(土)

11:00～16:00

場所／道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣

午前の部(11:00～12:00)

■第10回社会福祉大会

- ・ 式典(地域福祉の貢献者の表彰等)
- ・ 議事(大会宣言)

午後の部(12:00～16:00)

■“五縁”物産展

■地域福祉活動発表会(13:00～)

■ニコニコ高齢者体験・ドキドキ健康測定

【各ブースの紹介】

わたしたちの活動、紹介します。

地域福祉活動発表会

日光市では、多世代に渡って様々な人たちが“住みよい地域作り”のために、それぞれに福祉活動に取り組んでいます。今回は、そんな活動の一部をシンポジウム形式で紹介します。

■コーディネーター

山田 昇 氏(佐野短期大学 教授)

■活動報告者

災害VC運営連絡会
久次良町自治会
傾聴ボランティア「うすゆき草」
NIKKO高校生ボランティアネットワーク

何があるかは、来てみてからのお楽しみ!?

“五縁”物産展

不思議な“縁”でつながった五つの団体がタッグを組んで、物産展を開催!日光市地元の産物から県外の特産品まで、様々なものを販売します。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!

■協力団体

相馬市社会福祉協議会
妙高市社会福祉協議会
東松島市社会福祉協議会
スマイル日光プロジェクト協力団体

ニッキーと一緒に体験しよう!

ニコニコ高齢者体験 ・ドキドキ健康測定

車いす体験や輪投げゲームを通して、楽しく高齢者体験しよう!健康指導や、骨密度測定器を用いた健康コーナーもあります。

ニッキーが
皆をお出迎え
するよ♪



● 会場までのご案内 ●



道の駅 日光

日光街道ニコニコ本陣

- JR日光線今市駅より徒歩約5分
- 東武日光線下今市駅より徒歩約5分
- 日光宇都宮道路今市I.Cより約3分

駐車場について

- ①日光市役所(正面)駐車場
ニコニコ本陣行きシャトルバス有
(毎時15分、45分発)
- ②杉並木公園駐車場
- ③日光市営中央町駐車場
※駐車場②～③につきましてはシャトルバスの運行はございません。御容赦ください。

スペシャルすまいる

■編集・発行／社会福祉法人 日光市社会福祉協議会
〒321-1261 栃木県日光市今市511-1(日光市役所春日町庁舎内)
TEL 0288-21-2759/FAX 0288-21-3110
ホームページアドレス <http://www.shakyo-nikko.or.jp>
印刷：(有)三興社印刷所